

ひとり読み

2年1組で国語の研究授業がありました。「わたしはおねえさん」という物語文です。

すみれちゃんの妹がすみれちゃんのノートにコスモスの絵を描きました。妹は小さいのでまるでコスモスなんかには見えません。落書きをされたとでも思ったのでしょうか、すみれちゃんは泣きたいような、怒りたいような気持ちになりましたが、だんだんと「おねえさん」としての気持ちが強くなり、妹についての理解を深めていくといったお話です。2年生の子どもたちにとっては、同じような経験をしたことがあるかもしれません。自分のことと比べながら読み進めていきました。

この単元では「ひとり読み」という書き込みをしています。自分ひとりでこの物語を読み、気がついたことや不思議に思ったことを書き込んでいくのです。その成果が出たのか、すみれちゃんの心の動きについて、一生懸命考えて、たくさん意見を発表することができました。最後にはクラスの全員が発表できて、よかったなあと思いました。

でも、これで終わりではありません。放課後、今日の授業についての反省会が行われました。まったく相反する考えが出てきた場合の展開のしかた、深く考えさせたい部分について、どのように問い掛けるといいのか・・・など、ずっと議論は続けました。

このあと、家に帰って、きっと先生たちも「ひとり読み」をしているだろうなあと思いました。

クラスに牛がやってきた！？

オープンスクールの2日目、1年生の1組と2組が「牛乳の大切さを知ろう」という食育の学習をしていました。まず、第1多目的室でお話を聞いたり、DVDを見たりしました。大きなタンクや牛乳がどンドンできてくる様子に歓声をあげていました。

次の時間、1年2組の教室に行って続きを参観しました。バター作りに挑戦していました。小さい容器に生クリームと牛乳を入れて、一生懸命容器を振っています。小さい体をいっぱい使って振っています。やがて、できました。容器のなかに黄色っぽい固まりが見えるのです。これがバターです。残ったミルクは捨てるのかなと思って見ていると、これはバターミルクといって、普通の牛乳より甘いということでした。子どもたちは、バターミルクを飲んだり、バターをクラッカーにぬって食べたりして大喜びでした。

すると、あるお母さんが私のところへも持ってきてくださいました。飲んでみたいなあ、食べてみたいなあと思っていましたので、私も子どもたちみたいにうれしくなりました。

おいしかったですよ～。ほんとにおいしかったです。

この後、クイズもしていただきました。日本で一番たくさん飼われている牛の種類や牛の体重や身長。いっぱい勉強しました。

最後に実物大の牛の写真をプリントした布を広げて見せてくださいました。

「うわ～っ！！」「すご～っ！！」「でっか～！！」

大歓声でした。

そうそう、作り方のプリントをいただきました。後日、食育だよりで紹介します。お楽しみに。